



第115・116号 (昭和44年6月・7月)

目次

関係法令.....1  
 学内規則.....2  
 富山大学事務分掌内規の一部を改正する内規.....2  
 富山大学学則の一部を改正する学則.....2  
 富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部を改正する要項.....3  
 富山大学物品管理事務取扱細則の一部を改正する細則.....3  
 諸会議.....5  
 人事異動.....5  
 学内諸報.....6  
 大学紛争の経過(4).....6  
 学長選挙.....6  
 会計検査院会計実地検査.....7  
 事務系初任者研修会.....7  
 学位取得者.....8  
 職員消息.....8  
 主要日誌.....8

関係法令

(官報掲載月日)

法律  
 国立学校設置法の一部を改正する等の法律(40) 6.9  
 公職選挙法の一部を改正する法律(48) 6.23  
 政令  
 国立大学の大学院に置く研究科の名称及び課程を定める政令の一部を改正する政令(148) 6.9  
 国立工業教員養成所の設置等に関する臨時措置法の廃止に伴う関係政令等の整理に関する政令(149) ♪  
 国有財産法施行令の一部を改正する政令(153) 6.10  
 国家公務員共済組合法施行令の一部を改正する政令(164) 6.17  
 省令  
 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に

関する省令の一部を改正する省令(文部16) 6.9  
 国立工業教員養成所の廃止に伴う関係文部省令の整理に関する省令(同17) ♪  
 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(同18) 6.11  
 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律施行規則の一部を改正する省令(同19) 6.14  
 義務教育費国庫負担法第二条但書の規定に基づき教職員給与等の国庫負担額の最高限度を定める政令施行規則の一部を改正する省令(同20) ♪  
 公立高等学校の設置、適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律施行規則等の一部を改正する省令(同21) ♪  
 国家公務員宿舎法施行規則の一部を改正する省令(大蔵40) 7.1

規則

職員の災害補償の一部を改正する規則(人事院16-0) 6.24  
 俸給表の適用範囲の一部を改正する規則(同9-2) 7.7  
 俸給の調整額の一部を改正する規則(同9-6) 7.25  
 俸給の特別調整額の一部を改正する規則(同9-17) ♪

府令

科学技術研究調査規則の一部を改正する総理府令(総理27) 6.11

訓令

文部省所管物品管理事務取扱規程の一部を改正する訓令(文部15) 6.5  
 国立工業教員養成所の廃止に伴う関係文部省訓令の整理に関する訓令(同16) 6.11  
 人事に関する権限の委任等に関する規程の一部を改正する訓令(同17) 6.14  
 文部省所轄機関及び文化庁附属機関に勤務する職員の勤務時間の特例に関する規程(同18) 7.1  
 文部省所管船舶乗組員に対する旅費支給規則の一部を改正する訓令(同19) 7.22

告示

天然記念物法城寺の連理根上りマツの指定を解除する件(文部265) 6.5  
 史跡亀ヶ谷坂を指定する件(同266) ♪  
 史跡朝夷奈切通を指定する件(同267) ♪  
 昭和44年度学校図書館司書教諭講習実習要領を定める件(同268) 6.10  
 保健婦助産婦看護婦法に規定する学校の指定を取り消した件(同269) ♪

保健婦助産婦看護婦法に規定する学校を指定した件（文部270）	6.10
文部省の所管に属する船舶に関し船舶所有者が行なう手続きについて文部大臣の代理官を指定した件の一部を改正する件（同271）	6.11
国有資産等所在市町村交付金の交付等についての事務委任に関する件の本文を改正する件（同272）	ク
高等学校において使用される教科用図書として検定を与えた図書を告示（同273）	6.16
保健婦助産婦看護婦法に規定する学校の名称を変更した旨の届出があった件（同274）	ク
診療放射線技師及び診療エックス線技師法に規定する学校を指定した件（同275）	6.17
衛生検査技師法に規定する学校を指定した件（同276）	ク
指定教員養成機関として指定した施設を廃止した件（同277）	6.18
教員養成機関を指定した件（同278）	ク
保健婦助産婦看護婦法に規定する学校を指定した件（同279～281）	ク
技能教育のための施設の指定を解除した件（同282）	ク
昭和44年度高等学校教員資格試験を実施する件（同296）	6.28
昭和41年度以降、文部省所管の補助金等に関する事務を都道府県知事に委任した件の一部を改正する件（同298）	7.22
昭和41年度以降、文部省所管の補助金等に関する事務を都道府県教育委員会に委任した件の一部を改正する件（同299）	ク
昭和42年度以降、特殊教育学校就学奨励費交付金の交付に関する事務を大学長に委任した等の件の一部を改正する件（同300）	ク
私立の大学の教員養成を目的とする義務教育教員養成の課程を指定した件（同301）	ク
短期大学の名称を変更する旨の届出があった件（同302）	ク
重要無形文化財の保持者が死亡したので、当該保持者の認定が解除された件（同303）	7.24
神子元島燈台を史跡に指定する件（同304）	7.25
上野栖原のシオジ林を天然記念物に指定する件（同305）	ク
東京大学宇宙航空研究所は観測ロケット実験を実施する件（同306）	7.31
<b>官庁報告</b>	
昭和44年度国家公務員採用初級試験（第1回）最終合格者（人事院中部事務局長）	7.5
昭和44年度国家公務員採用中級試験公告（人事院事務総長）	7.10
昭和43年度第四・四半期における国庫の状況報告	

（内閣） 7.16

人事院年次報告（業務状況報告）（内閣） 7.24

**学 内 規 則**

**富山大学事務分掌内規の一部改正**

富山大学事務分掌内規の一部の改正をする内規を次のとおり制定する。

昭和44年6月20日

富山大学長 後藤秀弘

富山大学事務分掌内規の一部を改正する内規

富山大学事務分掌内規（昭和39年2月10日制定）の一部を次のように改正する。

第1条 第6号中「休暇および勤務時間」を「本部の休暇および勤務時間」に改める。

第2条を次のとおり改める。

第2条 人事課の所掌事務を次のように分掌する。

人事係

- (1) 職員の任免および分限に関すること。
- (2) 職員の定員に関すること。
- (3) 外国人教師等の雇用契約に関すること。
- (4) 職員の俸給、諸手当に関すること。
- (5) 等級別定数の管理に関すること。
- (6) その他他の係に属しないこと。

能率係

- (1) 退職者の恩給、共済組合の長期給付および退職手当に関すること。
- (2) 職員の健康管理、福祉および公務災害補償に関すること。
- (3) 栄典および表彰に関すること。
- (4) 名誉教授の称号に関すること。
- (5) 人事記録の作成、保管に関すること。
- (6) 職員宿舎の居住者の選考に関すること。

職員係

- (1) 職員の服務に関すること。
- (2) 職員の懲戒に関すること。
- (3) 職員の団体に関すること。
- (4) 職員の研修および勤務評定に関すること。
- (5) 職員の勤務時間および休暇に関すること。

附 則

この内規は、昭和44年6月20日から施行する。

**富山大学学則の一部改正**

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

昭和44年7月2日

富山大学長 後藤秀弘

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和25年1月20日制定）の一部を次のように改正する。

別表第1中、文理学部理学科欄の講座または学科目の項のうち「解析学」の次に「数理統計学」を、薬学部製薬化学科欄の講座または学科目の項のうち「△薬品製造工学」の次に「△薬品製造化学」を加え、工学部化学工学科欄の講座または学科目の項の「反応工学」「拡散単位操作」「機械的単位操作」「輸送現象」を「△反応工学」「△拡散単位操作」「△機械的単位操作」「△輸送現象」に改め、同電子工学科欄の講座または学科目の項に「△基礎電子工学」「△応用電子工学」を加える。

別表第3を次のとおり改める。

学部	学科等	入学定員	総定員
文理学部	文 学 科	60名	220名
	理 学 科	125名	435名
教育学部	小 学 校 教 員 養 成 課 程	100名	400名
	中 学 校 教 員 養 成 課 程	50名	200名
	養 護 学 校 教 員 養 成 課 程	20名	60名
経済学部	経 済 学 科	160名	640名
薬学部	薬 学 科	50名	200名
	製 薬 化 学 科	50名	200名
工学部	電 気 工 学 科	50名	190名
	工 業 化 学 科	40名	160名
	金 属 工 学 科	40名	170名
	機 械 工 学 科	50名	210名
	生 産 機 械 工 学 科	40名	170名
	化 学 工 学 科	40名	160名
	電 子 工 学 科	40名	80名
合 計		915名	3495名

附 則

この学則は、昭和44年7月2日から施行し、昭和44年4月1日から適用する。

富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部改正

富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部を改正する

要項を次のとおり制定する。

昭和44年7月7日

富山大学長 後藤秀弘

富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部を改正する要項

富山大学支出負担行為等事務取扱要項（昭和39年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

第6条第1項ロのうち「予定価格が30万円以上のもの（様式第13号）」を「予定価格が60万円以上のもの（様式第13号）」に改める。

別紙1中「1事務局において起案するもの」の区分二のうち「1件30万円以上」を「1件60万円以上」に改め、「3附属図書館において起案するもの」の区分一のうち「1件30万円未満」を「1件60万円未満」に改める。

別紙2中、1見積書欄の物品供給、その他の項の1のただし書のうち「1万円未満」を「3万円未満」に改め、同欄同項の2のうち「30万円未満」を「60万円未満」に改め、同欄同項の3のうち「30万円以上」を「60万円以上」に改める。

附 則

この要項は、昭和44年7月7日から施行し、昭和44年4月1日から適用する。

富山大学物品管理事務取扱細則の一部改正

富山大学物品管理事務取扱細則の一部を改正する細則を次のとおり制定する。

昭和44年7月14日

富山大学長 後藤秀弘

富山大学物品管理事務取扱細則の一部を改正する細則 富山大学物品管理事務取扱細則（昭和35年4月22日制定）の一部を次のように改正する。

第18条中「別紙第1号様式の物品請求および命令書により部局長を経て、」を「別紙第1号様式の物品請求および命令書（別紙第1号様式の欄が不足するときは、別紙第1号の2様式を用いて添付すること。）により部局長を経て、」に改める。

別紙第1号様式を次のとおり改める。（次のとおりは、別紙1による。）

別紙第1号様式の次に次の様式を加える。別紙第1号の2様式（別紙2による。）

附 則

この細則は、昭和44年7月14日から施行し、昭和44年7月1日から適用する。

(別紙1)  
別紙第1号様式

原					符				
部局名									
経費科目	支出負担行為番号								
請求年	月	日	請求第	号					
					請求者(印)				
使用場所	理由								
摘要									
品目	規格・容量	数量	単価	価格	分類	細分類	種類	記号	番号

物品請求及命令書					取請求契約担当職員 (分任) 物品管理官				
部局名					課長 事務長補佐 係長				
経費科目	支出負担行為番号				受入	払出	受領	返納	
請求年	月	日	請求第	号	受領	物品出納官 年 月 日	物品供用官 年 月 日		
部局長	物品出納官 物品供用官				物品管理通知書第		号	整	物品管理簿記帳 年 月 日
使用場所	理由				納入者		理	物品出納簿記帳 年 月 日	物品供用簿記帳 年 月 日
摘要									
品目	規格・容量	数量	単価	価格	分類	細分類	種類	記号	番号

物品管理通知書										
部局名					物品管理官印		通知番号第			号
経費科目	支出負担行為番号				年 月 日					
請求年	月	日	請求第	号	納入者		整	物品出納簿記帳 年 月 日	物品供用簿記帳 年 月 日	
使用場所	理由						理			
摘要										
品目	規格・容量	数量	単価	価格	分類	細分類	種類	記号	番号	

備考 この様式は、3枚1組とし複写する。

(別紙2)  
別紙第1号の2様式

品目	規格・容量	数量	単価	価格	分類	細分類	種類	記号	番号

備考 この様式は、3枚(同様式)複写とする。

諸 会 議

第7回 評議会 (6月19日)

後藤学長就任挨拶

(議題)

1. 教官人事について
2. 附属図書館工学部分館長候補者について
3. その他

第8回 評議会 (7月2日)

(議題)

1. 大学問題対策本部専門委員会の事務分担について
2. スト終結への対策について
3. 富山大学学則の一部を改正する規則 (案) について
4. 昭和45年度概算要求について

第9回 評議会 (7月31日)

(議題)

1. 昭和45年度入学者選抜学力検査実施教科, 科目について
2. 昭和44年度中途卒業について
3. 教官の特別昇給について

(報告)

1. 昭和45年度富山大学大学院工学研究科 (修士課程) 学生募集要項について

第7回 協議会 (6月6日)

(議題)

次期学長候補者について

大学問題対策本部合同委員会

(7月10日) (7月11日) (7月16日)

(7月22日) (7月26日)

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 者
助 教 授 (長崎大学薬学部)	小 泉 保	教授 (薬学部) に昇任させる	44. 6. 1	文 部 大 臣
	里 村 庸 子	助手 ( ) に採用する	〃	富山大学学長 事務取扱
	荒 木 一 雄	教務補佐員 (工学部) 〃	〃	〃
講 師 (文理学部)	宮 谷 大 作	富山工業高等専門学校に出向させる	〃	〃
教 授 (文理学部)	島 崎 藤 一	評議員に併任する (44. 6. 1 ~ 46. 5. 31)	〃	文 部 大 臣
( 〃 )	小 林 貞 作	( 〃 )	〃	〃
( 〃 ) (教育学部)	玉 生 正 信	( 〃 )	〃	〃
( 〃 )	深 井 三 郎	( 〃 )	〃	〃
( 〃 ) (工学部)	室 町 繁 雄	( 〃 )	〃	〃
( 〃 )	養 田 実	( 〃 )	〃	〃
教 授 (東北大学 金属材料研究所)	後 藤 秀 弘	富山大学学長に昇任させる 評議員に併任する 富山大学経営短期大学部学長に併任する (44. 6. 13 ~ 48. 6. 12)	44. 6. 13	〃
教 授 (文理学部)	西 山 勤 二	文理学部長に併任する 評議員に併任する (44. 6. 13 ~ 46. 6. 12)	〃	〃
( 〃 )	竹 内 豊 三 郎	富山大学学長事務取扱を免ずる 富山大学経営短期大学部学長事務取扱を免ずる 文理学部長を免ずる	〃	〃
文 部 事 務 官 (庶務部人事課 職員係長)	泉 三 郎	庶務部人事課能率係長に併任する	44. 6. 20	富山大学学長
	沢 畠 恭	教授 (工学部) に採用する	44. 7. 1	文 部 大 臣
	田 屋 志 郎	技能補佐員 (経理部経理課、自動車運転手) に採用する	〃	富山大学学長
事 務 補 佐 員 (工学部)	梶 原 喜 笑 子	辞職を承認する	〃	〃
( 〃 )	木 田 幸 作	〃	〃	〃

助 教 授 (工 学 部)	山 田 正 夫	附属図書館工学部分館長に併任する (44. 7. 13~46. 7. 12)	44. 7. 13	文 部 大 臣
	池 永 紀代子	事務補佐員(工学部)に採用する	44. 7. 14	富山大学長
文 部 事 務 官 (文 理 学 部)	大 森 貞 夫	辞職を承認する	44. 7. 31	ク

学 内 諸 報

大学紛争の経過 (4)

横田学長の辞任後、富山大学協議会は学長候補者を選出するため、富山大学学長選考基準により、4月から手続きを進め、6月6日午前10時から教育学部附属学校旧校舎仮会議室で実施した。しかし午前10時30分頃、学長選挙を妨害しようとする全学大衆団交推進会議系の学生約30名が投票場に乱入し、投票箱を破壊し逃げ去ったが、学生6名が警察官に逮捕されるという事件が起きたため、第1回の選挙は無効となったが、同日午後再投票が実施され、決選投票の結果東北大学教授後藤秀弘氏が当選し、同日開催の協議会で審議の結果同氏を次期学長候補と決定した。

後藤秀弘学長は6月13日発令、同月18日富山に着任され、早速各学部から推せんされた4~5名の教官と評議員及び補導協議員等を構成員とする大学問題対策本部を設け、紛争の早期解決のため企画・立案および執行にあたり、また一方学生の意向もじゅうぶんきき、富山大学再建のため建設的意見の交換をはかり、学生も相手の立場を尊重し理解して早急に授業再開に協力してほしいとの基本姿勢が示された。この方針に沿い7月2日開催の評議会の承認により大学問題対策本部が発足し、7月8日大学問題対策本部は、上記学長の基本姿勢を基本方針とすることに決定し、別記の学長の要望書を全学生に郵送すると同時に、各学部学生自治会に対しては、集会のための予備折衝を実施したいと通知した。

この間学生の父兄は6月15日、富山大学正常化推進父母連合を結成し、学長に対し問題解決のため確固たる意思表示をしてほしいという要旨の要請書を提出、また県下高等学校P.T.A連絡協議会と県下高等学校長会の両者は一日も早く紛争の收拾をはかり、来年度入学試験実施の確実な見通しと、入学試験方法の改善に努めるよう要望があるなど、学外からもいろいろの要請があった。

学生は大学から提案した全学集会(団交)に対し、全学大衆団交推進会議は予備折衝を公開で開催したいと要求、また一部の学部では学生大会が定足数不足等のため、代表者を選べない等学生の意思統一ができないまま、大学は会場のつごうなどのため7月25日富山市体育館において9時から全学集会(団交)を開催した。

全学集会は学生の入場開始にあたり、職員により学生証

の提示等を求めたため学生は入場を拒否し、混乱したが大学側は9時過ぎからノーチェックをきめ、さらに五か所の入口を開いたため学生は入場を開始した。開始と同時に大衆団交推進会議派の学生約50名が議長席附近を占拠し、一方的なアジテーションをはじめ、9時50分頃彼等の決定した議長団を紹介し「追及団交」を開始した。11時頃教育学部学生席からスピーカーで統一代表団による集会参加を求めるアピールがあり、会場は騒然となり午後も予定の3時30分まで学生相互のマイク合戦のため、大学の意図した集会としては不成功であった。しかし集会は約2,000名の学生が集まり大学側の姿勢を認めてくれたものとも考えられることから7月26日大学問題対策本部は今後さらに対策本部を拡充強化し、問題解決のため努力することとなった。

(別記)

全学生に対する学長の要望書

①われわれは、必ずしも従来の見解にとらわれることなく卒直に学生諸君の要求に耳をかたむけ、とり入れるべきところはとり入れる方向で、諸君の提起した諸問題に対処していくつもりである。

②われわれは正常化を一日も早く実現するために、できるだけ早く全学生諸君と討議する機会をつくりたいと思う。そのために、学生諸君の協力を切に要望し、その集まりにぜひとも参加してもらいたい。

(付記) 日時は、おそくとも7月17日~20日頃を予定し、場所は富山市公会堂などを予定しているが、これらについては学生諸君と折衝して決めたい。

学 長 選 挙

横田学長が3月4日に辞任され、同日付で竹内文理学部長が学長事務取扱に就任。4月7日の協議会で学長選考管理委員会を設置することを決定し、同委員会委員長に林良二教授を選出。なお4月18日の協議会で選挙を行なう事由、期日、場所、日程、選挙方法等について協議し、下記のとおり公示した。

1, 選挙を行なう事由

富山大学学長選考基準第2条第2号の規定による

2, 選挙を行なう期日

昭和44年6月6日(金) 午前10時~11時  
決選投票の場合 午後1時~2時

3, 選挙を行なう場所

学生会館大集会室

4, 選挙方法

富山大学学長選考基準第10条の規定による

また、学長候補適任者選定委員会の選んだ適任候補者を5月19日次のとおり公示した。

後藤 秀弘（東北大学教授）

高橋 正雄（元九州大学及び元鹿児島大学教授）

竹内豊三郎（富山大学教授，富山大学学長事務取扱）

谷川 久治（元千葉大学学長）

渡辺 義一（富山大学教授，富山大学教養部長）

なお、諸般の事情から選挙を行なう場所を附属小学校特殊学級2階教室に変更することを同時に公示した。

学長候補者選挙の公示に基づき、6月6日午前10時から附属小学校特殊学級2階教室で学長候補者選挙が行なわれたが、午前10時30分頃、不法学生約30名が乱入し、投票箱をこわし、投票用紙を散乱させ、投票場を一部破壊して選挙を不能にしたので、午後1時から再び学長候補者選挙を同室で実施した。

選挙の結果、過半数の得票者がなかったため午後3時から上位の後藤秀弘、谷川久治の両氏の間で決選投票が行なわれ、その結果後藤秀弘氏の当選が確定した。

後藤新学長の略歴は次のとおりである。

兵庫県川辺郡出身（明治40年9月11日生）

昭和8年3月 東北帝国大学理学部化学科卒業

昭和13年10月 東北大学助教授

昭和15年4月 理学博士

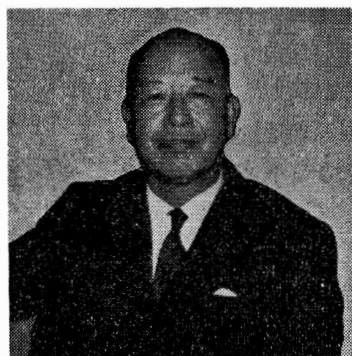
昭和20年3月 東北帝国大学教授

昭和28年4月 東北大学大学院工学研究科担当

昭和34年8月 スウェーデン、イタリア、米国に、同36年4月西ドイツ、フランス、連合王国、オーストリア、米国に、同38年7月連合王国、西ドイツ、スイス、ノルウェーに、同41年6月フランス、スイス、西ドイツ、連合王国に海外派遣

昭和42年7月 東北大学金属材料研究所材料試験用原子

後藤 秀弘 学長



炉利用準備室主任

昭和44年4月 同大学研究所附属材料試験炉利用施設長  
事務取扱

## 会計検査院会計実地検査

会計検査院の実地検査は昭和39年5月以来5年ぶりに実施されたものであるが、本学は時あたかも紛争中であり一部学生の不法行為により、本部所在の富山市五福地区が正門においてバリケード封鎖されていたため、同五艘の附属学校特殊学級校舎において実施された。

検査の重点は受託研究、奨学寄附金、紛争による被害状況調査が主として検査対象となったが、検査の結果は良好な成績であった。しかし受託研究については民間団体・法人・公共団体等から依頼を受けた場合には、その学部を通じ歳入の受入れ手続きをし歳出予算の示達を受けるよう注意を受けたので、今後とも所定の手続きを経て受けるよう努める予定である。なお検査日程・検査官および提出調書は次のとおりである。

（検査月日） 昭和44年7月21日～7月23日

（検査官） 調査官 竹尾 勉

〃 植野 護

〃 太田 昌平

〃 和田 秀一

事務官 永田 尚大

（調書目録） 昭和43年度 歳入調書

〃 支出調書

〃 学内配賦予算執行状況調書

〃 授業料調書

〃 農場等に関する調書

〃 物品購入修理等調書

〃 工事調書

〃 受託研究調書

〃 奨学寄附金調書

〃 科学研究費補助金調書

〃 国有財産に関する調書

〃 土地建物借入調書

## 事務系初任者研修会

富山大学事務系初任者研修会は、6月23日（月）から28日（土）まで、および7月1日（火）の午前中、教育学部附属小学校図書室で行なわれた。

研修会は昭和43年8月2日以降の新任事務系職員を対象に「基礎知識を与るとともに勤務能率の増進に資する」ことを目的として行なわれたものである。

研修会日程および研修生は次のとおり

6月23日（月）

開講式、職員の服務について（木村人事課長）  
 共済組合法（短期給付）について（大木主計課長）  
 6月24日（火）  
 国の財政と大学予算および経理部の業務について  
 （蓮覚寺経理部長），図書館の業務について（永田附属  
 図書館事務長心得）  
 6月25日（水）  
 富山大学の施設関係について（郷倉施設課長）  
 孔版技術について（草島事務官）  
 6月26日（木）  
 接遇について（簗木庶務係長），公務災害補償と退職手当  
 および長期給付について（泉能率係長）  
 6月27日（金）  
 公文書の取り扱いおよび作成について（若林文書係長）  
 職員の任用および給与について（土井人事係長）  
 6月28日（土）  
 学生の厚生補導および学生部の業務について（友部学生  
 部次長），行政組織および富山大学の沿革ならびに学内規  
 則について（河野庶務課長）  
 7月1日（火）  
 特別講義「人間関係の心理」（泉助教授）  
 国家公務員法について（丸山庶務部長），閉講式

（研修生）

人 事 課 大崎秀雄  
 文 理 学 部 堀口 勲  
 薬 学 部 高見春男 佐野明美  
 工 学 部 佐野 勤 麻生俊一 柴田 幹  
 能手哲治 高野俊英  
 教 養 部 高邑英市  
 附属図書館 森井 章

### 学 位 取 得 者

取 得 者 文理学部助教授 平山 実  
 取 得 学 位 理学博士  
 取 得 年 月 日 昭和44年7月23日  
 学 位 論 文 **Compositeness Condition for  
 Particles with Identical Quantum  
 Numbers**  
 提 出 大 学 京都大学

## 職 員 消 息

### <新任者>

経理部経理課  
 技能補佐員 田屋志郎  
 薬 学 部  
 助 手 里村庸子  
 工 学 部  
 教 授 沢島 恭  
 教務補佐員 荒木一雄

### <住所変更>

経理部主計課 村井 弘  
 文 部 事務官  
 工 学 部 雁田 彰  
 文 部 事務官

## 主 要 日 誌

### 本 部

6月2日 学長選考管理委員会  
 3日 公務員宿舎委員会，事務協議会  
 5日 学長選考管理委員会，授業料減免選考委員会，  
 補導協議会  
 6日 富山大学学長選挙，協議会  
 13日 後藤秀弘富山大学長発令  
 14日 大学後援会理事会  
 19日 評議会  
 23日 学寮補導委員会  
 23～28日 事務系初任者研修会  
 27日 補導協議会  
 7月2日 評議会  
 8日 入学者選抜方法研究委員会  
 10日 大学問題対策本部合同委員会  
 11日 大学問題対策本部合同委員会  
 14日 経済学部教官人事協議会  
 16日 大学問題対策本部合同委員会  
 21～23日 会計検査院会計実地検査  
 22日 大学問題対策本部合同委員会  
 全学集会の予備折衝  
 24日 全学集会の予備折衝



- 25日 全学集会（富山市体育館にて）  
 26日 大学問題対策本部合同委員会  
 28日 補導協議会  
 31日 評議会

### 文 理 学 部

- 6月4日 教授会  
 12日 教授会  
 13日 西山勤二学部長発令  
 24日 教授会，学部補導委員会  
 30日 教授会  
 7月4日 学部補導委員会，人事教授会  
 7・8日 理学科教官会議  
 9日 学部補導委員会，教授会  
 11日 教授会  
 15日 立山研究室開設，教授会  
 19日 教授会  
 21日 人事教授会  
 24日 教授会  
 29日 教授会

### 教 育 学 部

- 6月4日 紀要編集委員会  
 5日 教務委員会  
 11日 予算委員会，人事教授会，教授会  
 24日 学部補導委員会，教務委員会，職業補導委員会，教授会  
 7月4日 附属幼稚園研究発表会  
 9日 教務委員会，教育実習委員会，教授会  
 14日 教授会  
 15日 紀要編集委員会，緊急教授会  
 19日 附属幼稚園終業式  
 24日 教授会，学部補導委員会  
 25日 附属中学校終業式  
 25～27日 附属小学校林間学級  
 28日 附属小学校終業式  
 29日 教授会

### 経 済 学 部

- 6月2日 教務委員会

- 7日 教務委員会  
 18～20日 第3回教授会（持廻り）  
 26日 教務委員会  
 7月3日 第4回教授会  
 9日 第5回教授会

### 薬 学 部

- 6月2日 教授会  
 3日 教授会  
 4日・5日 教授会  
 7日 教授会  
 9日・10日 教授会  
 11日・12日 教授会  
 13日・14日 教授会  
 16日・17日・18日 教授会  
 21日 日本薬学会北陸支部例会（於金沢大学）  
 23日 教授会  
 25日 教授会，人事教授会  
 28日 教授会  
 30日 教授会  
 7月3日 教授会  
 4日 人事教授会  
 7日 教授会  
 10日・11日 教授会  
 14日 教授会，大学院薬学研究科委員会  
 17日 教授会  
 21日 教授会  
 23日 教授会  
 28日 教授会  
 30日 学部レクリエーション委員会

### 工 学 部

- 6月4日 専任教授会，一般教授会，教官懇談会  
 11日 専任教授会，一般教授会  
 23日 一般教授会  
 25日 一般教授会，定期健康診断（X線間接撮影）  
 26日 一般教授会，日本脳炎予防接種  
 30日 大学院工学研究科委員会  
 7月2日・3日 一般教授会  
 9日 一般教授会  
 15日 一般教授会  
 16日 学部補導委員会  
 23日 一般教授会

30日 一般教授会，専任教授会

**教 養 部**

- 6月3日 教授会（第18回）補導委員会
- 4日 教授会（第19回）
- 11日 教授会（第20回）
- 12日 教務委員会
- 14日 教授会（第21回）
- 25日 教授会（第22回）
- 26日 教務委員会
- 30日 教授会（第23回）
- 7月2日 教授会（第24回）
- 14日 教授会（第25回）
- 23日 教授会（第26回）
- 28日 教授会（第27回）

**附 属 図 書 館**

- 6月4日 薬学専門図書室移転（本館建物内）
- 19日 本館事務打合会
- 7月1日 本館事務打合会
- 16日 事務打合会（第3回）
- 21日 時間外開館休止（夏季休暇による）

**経 営 短 期 大 学 部**

- 6月12日 教授会
- 24日 教授会
- 7月8日 学生球技大会
- 16日 学生，職員の定期健康診断
- 18日 授業修了（14週），教授会
- 19～21日 補講
- 22日・23日 会計検査院会計実地検査

○学報（4・5月号）の訂正

5頁・人事異動 下から四行目・深井三郎を玉生正信に訂正

7頁・永年勤続者の表彰

〔勤続35年〕に倉田軍一（薬学部）を加える。

**編 集**

富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190

**印刷所**

中央印刷株式会社  
富山市下奥井28  
電話 ☎ 6572番